

<ショックドクトリン> 原作は、ナオミ・クラインの世界的ベストセラー『ショック・ドクトリン—惨事便乗型資本主義の正体を暴く』。監督は、イギリスの俊英マイケル・ウィンターボトムとマット・ホワイトクロス。『グアンタナモ、僕達が見た真実』でベルリン国際映画祭銀熊賞を受賞した二人が再びコラボレーションしたこの作品は、2009年ベルリン国際映画祭パノラマ部門、サンセバスチャン国際映画祭、2010年サンダンス国際映画祭など、多くの映画祭で上映された。



© Ed Kashi

原作：ナオミ・クライン Naomi Klein

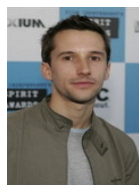
カナダのジャーナリスト。ネーション、ガーディアン、ニューヨーク・タイムズなどさまざまな媒体で記事を発表。主著『ブランドなんか、いらない—搾取で巨大化する大企業の非情』、『ショック・ドクトリン—惨事便乗型資本主義の正体を暴く』は世界的ベストセラーとなった。2004年にはドキュメンタリー映画『ザ・テイク (The Take)』を制作し、相次ぐ工場閉鎖のなかで、工場の自主管理闘争に立ち上がったアルゼンチンの労働者たちの姿を描いた。

監督：マイケル・ウィンターボトム Michael Winterbottom



1995年『バタフライ・キス』で長編映画デビュー。パキスタンの難民の少年を描いた『イン・ディス・ワールド』で2003年ベルリン国際映画祭金熊賞受賞。『グアンタナモ、僕達が見た真実』で、2006年ベルリン国際映画祭銀熊賞(監督賞)受賞。最新作は、『いとしきエブリデイ』(日本公開2013年)。

監督：マット・ホワイトクロス Mat Whitecross



『9 Songs ナイン・ソングス』(04) 編集、『グアンタナモ、僕達が見た真実』(06) で共同監督。主作品“Sex & Drug & Rock & Roll”(2010)、“Spike Island”(2012)

<九条・まちだ>は2003年に誕生し今までに20回の企画開催してきました。

2013年は、

◎講演会「戦後史の真実」孫崎 享さん (元外務省国際情報局長・元防衛大学校教授)

◎映画と講演の集い映画「ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎 90歳」

講演「自民党 憲法草案を斬る」成澤宗男さん (『週刊金曜日』編集部)

※「原発事故を考える町田市民の会」と「九条・まちだ」の共催企画です。

◎DVD 上映会+意見交換会 DVD 上映『あぶない憲法のはなし (小森陽一さん)』

意見交換会(司会) 加藤喜代志 (九条・まちだ世話人)

2014年も、「九条・まちだ」は、「九条」を守る活動を続けていきます。

※来年夏頃に、映画「カンタティモール」上映会を計画中です。(企画から参加したい方はご連絡ください。)

※「九条・まちだ」企画がメールで届くメーリングリスト登録希望の方はメールにてご連絡ください。(企画連絡専用)

勝楽寺：東京都町田市原町田 3-5-12

tel: 042-722-3147

小田急線「町田駅」東口・西口より徒歩約13分

JR線「町田駅」ターミナル口より徒歩5分

